

第 19 回千早赤阪村庁舎建設検討委員会会議録（要旨）

日 時 令和 2 年 9 月 28 日(月) 午前 10 時～午前 11 時 15 分
場 所 くすのきホール 2 階会議室
出 席 者 仲野副委員長、阪辻委員、豊田委員、西野委員、服部委員、矢倉委員、
城戸委員、伏井委員、柴田委員、久保委員、柳川委員、関口委員、山形委員
欠 席 者 楠本委員
事 務 局 南本村長
総務課：日谷課長
人事財政課：中野課長
地域戦略室：赤阪室長、藤戸参事、木ノ本係長、瓦谷主査

傍 聴 者 1 名

会議概要 開会

1. 議事

(1) 委員長の選出について

(2) 新庁舎建設計画の今後の方針について

閉会

【議事要旨】

1. 議事

※事務局より (1) 委員長の選出について

(2) 新庁舎建設計画の今後の方針について

についての説明を行い、委員長の選出については、互選により委員長には仲野副委員長が、副委員長には阪辻委員が就任された。議事については委員から次の通り意見等がありました。

(伏井委員)

財政見通しと言うことですが、村税は元々少ないので、交付税が減ると言う見込みですか。期間はどれくらい延びるのですか。

(赤阪室長)

期間は、年度内くらいに検討委員会で一定の方針を示したい。

国も減収を言ってるのでいろんな部分で補助金、交付金にどのような影響があるのか調

べてシミュレーションをしたい。

(伏井委員)

まだ具体案は無いということですか。

(服部委員)

見直しは財政面や、アフターコロナを見て変更するということか。

会議を何十回もしているのに、ひっくり返すとなると住民の思いはどうなるのか。

変更理由はこの2点だけか、まだどのくらいの変更か煮詰まっていないのか。

(赤阪室長)

具体的にどのようにするかは煮詰まっていない。検討したらこのままということもあり得るが、スペースをどうにか広くできないかの検討もしたい。

(城戸委員)

コロナ以外の問題は前からあった問題で、住民アンケートも取って狭いながらもあの場所が決まった。根底からひっくり返すのは、今まで検討して積み上げて来たものをもっと大事にして検討してほしい。

(関口委員)

9月議会で質問したが、当初10億円以内でやるとしており文化財でも1,900万円くらいかかっている。4月に建設開始、来年7月に供用開始からは、コロナの影響で遅れることはみんな理解しているが、今の役場の状態で何年も放っておけるのか。

計画は練り上げられたものなので大幅に変えるのは考えられない。村民が理解できるようにしてほしい。

(豊田委員)

各委員の意見に大賛成。財政見直しは重々分かっているが、住民アンケートも取っているので現計画で前に進めてほしい。

(阪辻委員)

遅れている理由は、コロナと財政と言っているが、まだ他にできない理由があるんじゃないか。擁壁とか、土地の面積とかがこじれてるんじゃないか。コロナだけなら住民は納得するが、こんな3年も遅れることがおかしい、住民に説明しにくい。

(赤阪室長)

基本的に先ほどから説明している財政面とアフターコロナで庁舎のレイアウトなどの部分が再検討の理由です。

(城戸委員)

再検討しないといけない理由は他にないと言うことで解釈していいんですね。その辺があいまいな表現だと思います。

行政として現計画で進めない理由は他にないと言うことでいいんですね。

ちょっと念だけ押しておきたい。また、後から出てくるというようなことはないですね。

(赤阪室長)

基本的には今申し上げましたような内容で今回再検討したいと言うことです。

(柴田委員)

3点お伺いしたい。

- ・コロナによって設計を変更しないといけないのか、村はどう考えているのか。
- ・予算が変更になるのか。
- ・最終の完了の日がどれだけ伸びるのか

を教えてください。

今日は委員長選出だけの集まりであり、検討中だと言うことだけでは、3点の回答を聞かないと委員としては考え方がわからない。

また、年内に召集ではペースが遅い気がする。

(赤阪室長)

どれだけの設計の変更が必要なのか、どんな問題が出てくるか、どのように変更したらいいのかというのは、次の委員会でお示しすることになるかと思います。

また予算は、変更が必要な場合、変更の度合いによって予算が変わることがあろうかと考えております。

どれくらい延びるかと言うことも内容によって異なってきます。

今、お示しさせていただけたらいいのだが、これから変更が必要なのかも検討させていただく中で期間の方もお示しできるかなと考えています。

(柴田委員)

次回の検討委員会はいつぐらいで、それまでにその今の答えは出てると言うことでいいんですか。

(赤阪室長)

今、考えていますのは、年度内にもう一度開催しようと考えています。仮に変更が必要な場合、変更の案やいろいろ検討した結果をお示しし、ご意見等伺いたいと考えております。

(藤戸参事)

先ほどの話の補足です。

敷地の関係で庁舎も狭く現計画ではかなり密接しており、かなり人が集まるような計画になっています。それを解決するには単純に広くすればいいのですが、費用の問題もあります。新庁舎を広くしたとしても、ワクチンが出来きたら、結果論ですが過大だったのではということも考えられます。

新しい生活様式は、厚労省から出ていますが、新型コロナに対応した設計の指針等は明確に出ていません。これからの出てくる情報も含めて考慮しながら設計変更をしなければならないのか、そのままでいいのかを検討していきたいと思います。

(伏井委員)

レイアウトの細かい変更であれば、今契約しているお金でできるのでしょうか。支払い済みとかそういう状態なのでしょうか。

根本的にやり直すと言うことになれば、もう再度発注するということになるのでしょうか。

(瓦谷主査)

実施設計をやっています徳岡設計は、ご提示させていただいたプランでほぼ設計が完成しております。積算もほぼ完成しており、建築基準法の手続きの手前で止まっているという状況でございます。

先ほどから、変更案で行くのか、従来の案で行くのかとの話がありますが、変更の程度により、ある程度構造の変更なりますと設計費の追加ということが出てくると思います。その変更の程度によって、現状でできるか、根本的に見直すかが変わってくると思います。

(服部委員)

今変更する理由として、コロナに伴う財政の減や、アフターコロナの後の対応ということなどで、見直さだろうと思います。新庁舎にかけられる予算が減少するのであれば、重要度を考え、いくら予算を確保できるかを決めないといけないと思う。

設計を変更すれば、今まで投資したレイアウトの費用などが無駄になってくると思うが、いくらくらいのマイナスを予想してるのか。

具体的な数字を示して、それに基づいて、変更プランを何案か示したうえで、必要性を判断して皆さんに掲示するということがプロセスとして必要だと思う。

変更の理由は分かるが、変更の規模も額もわからんし何も分からなければ、討議のしようがない。

(南本村長)

先ほどから議論していただき、委員会の皆さんも非常に疑問に思われたり色々されていくところは重々わかるんです。

まず、新庁舎は防災拠点として必ず必要です。今の庁舎は1階の耐震性能が低いので早急に建て替えが必要です。

ただ、先ほどからコロナに責任転嫁してるように思われているかも知れませんが、コロナで、国も赤字国債を大量に発行して我々市町村の方に補正予算で頂いている状況です。

2012年に千早赤阪村は過疎化認定を受け、全国でも全市町村の半数が認定を受けています。近隣でしたら五條市、御所市すべて、交付金が来年の3月31日で切れます。切れてしまえばやりくりが出来ません。

昨年度、一般会計が35億円であるのかかわらず4億9千万円の税収入しかなかった。率にすると13%。これは大阪府下43市町村中最低の自主財源であり、ほとんどの他市町村は一般会計の30%は確保されています。千早赤阪村は非常に財源が少ないので、交付金に頼っています。

令和3年の交付金が全くないことは100%考えられませんが、その見込みが立たないとお金の工面、経費を含めて10億円までがベースになっていますが、お金の話と現庁舎位置で建替えるしないというのはまったく別の問題だと考えています。元々は一点集中型にして便利のいいようにすると言うことで進めていきましたが、コロナの関係で、分散型にすることや、狭いところを広くとったりの変更は、多少はあると思います。

建てる建てないの話しじゃなく、基本的に建てたいんです。予算的に再検討をするのは新庁舎とロープウェイ、ライフラインとか問題のある中で、これにお金が要るからこっちはやめとことかは絶対できないと思っています。すべてにおいて解決していかないと行かない。

7月16日に就任させていただいてから、すべてを見直しする中でいろんな問題が出てきており、交付金の問題や過疎債も、令和3年からスタートする国、府の政策によって大きく変わってきます。

アフターコロナに向けた新庁舎のことを、もう少し行政の方できちんと整理・再検討し、交付金や過疎債の目途がついた段階でご報告したいと委員の皆様にご理解いただきたいと思っています。

次の20回の検討委員会は来年早々、令和3年度の府や国の政策の見通しがついた段階でもう一度お諮りいただければなと考えています。

以上でございます。

(仲野委員長)

よろしいございますか。

他、ございませんか。

最後に私の方から、一点だけ、平成 25 年からスタートし、本日 19 回と言うことでございますので、本日までいろいろと検討もしていただいたと思います。

そして本日ご意見を出していただいた事柄につきましては、理事者側に置かれましても十分検討したのちに今度の 20 回の委員会で報告していただけるのものと確認いたしておりますので、この程度で閉めさせていただきたいとこのように思いますのでいかがでしょうか。

異議なし

(柳川委員)

建築士会の柳川です。コロナ対策に関してもいろいろ議論されていて建築界としてはまだ決まっていないが、あらゆるすべての建物は建築士が設計しているので我々のノウハウを今日の委員会でどういうことが託されているのかどういう責任があるのかということを経済士会内部でも話し合いをしてまた、提案を差し上げたいと思います。

(仲野委員長)

ありがとうございます。

それでは、この会議以上を持ちまして、閉めさせていただいてよろしいございますか。

異議なし

ありがとうございます。

それでは、事務局のほうから次回会議日程について説明いただきまして、ひとつよろしくお願いたします。

(赤坂室長)

次回日程につきましては、先ほど村長から報告ありました通り年明け位に開催と考えております。また改めて日程調整をさせていただきたいと思います。

(仲野委員長)

ありがとうございます。

以上を持ちまして第 19 回の委員会終了させていただきます。

本日は誠にありがとうございました。